

様式 4

令和 3 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子高等学校

校長 山 口 明 美

評 価 日	令和 4 年 2 月 1 6 日 (水)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況 ① 確かな学力の育成 ・分割授業、分散授業を行う場面が多かったが、職員研修を実施し、オンライン授業に取り組んだことは評価できる。また、高度資格試験にも取り組み一定の成果を得た。数値目標を設定して、今後も取り組んでほしい。 ② 豊かな人間性の育成 ・生徒会執行部で文化祭・体育祭のコロナ対応を行い工夫した内容実施ができ、ライブ配信で保護者へ模様を伝えることができたことは良かった。自転車ヘルメットの着用が進んでいないことが課題である。 ③ 自己実現のための進路指導の充実 ・キャリア教育・進路行事において、コロナ禍で未実施となり、講師・会場変更で対応する場面が多くあったが個別対応で成果を上げることができた。 ④ 地域連携による学校づくり ・地域連携事業は中学校出前事業を除き実施することができ、教育活動を広報することができた。地域の皆さんに喜んでいただいた。 (2) 説明・公表について 「卒業生アンケート」 ・概ね本校の教育目標を達成できていて評価できる。		・職員研修を経て、オンライン授業の実施ができ、GoogleWorkspace の活用が進み、新年度に向けた準備が整った。ICT 活用を推進し、検定等の合格率アップに取り組みたい。 ・生徒の自主的な取り組みを推進し、ヘルメット着用に向けた安全教育を実施する。 ・放課後、進路目標に向けた課外授業等の実施で進路意識を高めて実現に結びつける。 ・中学校区で始まるコミュニティ・スクールとの連携を図り、生徒の主体的な関わりを増やしていきたい。
2 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について ・コロナ禍で実施できないものもあったが、工夫して取り組んでいる。		・コロナ禍の状況における安全な授業実施を推進する。
3. 取組改善のための提言 ・性的マイノリティ、L G B T Q の配慮について研修をすすめてほしい。 ・自閉症や対人恐怖症の生徒もいるようだが、基本的な生活習慣の確立のためにも挨拶の励行をお願いしたい。		・生徒指導規程の変更等で服装対応を行う。また、講演会や職員研修で生徒理解を推進する。